

# とり村回覧板

Vol.  
19  
2016年1月号

認定NPO法人TSUBASA  
「人・鳥・社会の幸せのために」  
tel.048-480-6077  
www.tsubasa.ne.jp  
埼玉県新座市中野2-2-22

ぼっくりの  
里親さん  
募集中  
(2016年1月現在)

TSUBASAではさまざまな理由で引き取られた鳥たちのために、新しい家族を探す里親制度を設けています。詳しくは、公式HP:  
[www.tsubasa.ne.jp](http://www.tsubasa.ne.jp)  
または里親会のページ:  
[www.tsubasa.ne.jp/foster-bird/](http://www.tsubasa.ne.jp/foster-bird/) をご覧ください。



## 【ぼっくり】

@オカメインコ

ご飯が大好きで活発。気のうに、空気が溜まってしまふため定期的に処置をしますが人を嫌いになることなく、明るく頭を撫でて!と要求してきます。撫でる場所が違うと怒られますが…。特技は、タオルなどを目の前でパタパタ振ると上手に数種類のお歌を歌うことです。よく遊び、よく歌い、よく食べる、見ていてこちらが明るい気持ちになるような鳥さんです。

## TSUBASA

「The Society for Unity with Birds - Adoption and Sanctuary in Asia」  
(鳥と調和のとれる社会 - アジアの里親とサンクチュアリ)

## TSUBASAは「人・鳥・社会の幸せのために」を理念にレスキュー活動をする団体です

TSUBASAは、インコ・オウム・フィンチと暮らす全ての方、そして動物愛護に関心をお持ちの方に対して、より良いバードライフのご提案と適正な飼育の為の啓発活動を行っております。

また、様々な理由により手放されてしまった鳥達を引き取り(里子制度)、新しい飼い主さんを探す(里親制度)活動を行っております。

### 回覧板を設置して くださいませんか?

広く、皆様に活動を  
知っていただく事を目的とし  
本紙を発行しております。  
回覧板を設置して下さる団体様  
施設様を随時募集しています!



## CONTENTS

Vol.19

- 愛知県から33羽 緊急レスキュー ……1
- 里親さんからの手紙 ……3
- TSUBASAの里親会 ……4
- 鳥のおもちゃとTSUBASAのおもちゃ事情 ……5
- 鳥さんの保温について ……6
- 『BLA認定講座』ご報告 ……7



# 愛知県から33羽の鳥 緊急レスキュー

実施日	2015年11月11～12日
場所	愛知県
飼主	ブリーダー志望の一般の方

愛知県から緊急のレスキューがありました。  
個人情報のため詳細が書けないことをご了承います。  
時系列ごとにご報告いたします。

10/12

10月12日.....  
愛知県在住のTSUBASA会員Y様から、TSUBASA  
にご相談がありました。

問題として挙げられたのは、ブリーダー志望の一般の方、A様。  
A様と同居しているB様から、Y様宛にご相談があったとのこと  
です。相談内容は以下の通りです。

- A様は将来ブリーダーを目指しており、現在は小型の鳥を中心  
に約50羽の鳥を飼育している。
- ところが、A様の事情により、最近鳥たちのお世話が疎かにな  
ってきた。
- 里親を探すことを提案しても、A様には鳥を手放す意志がな  
く、どうすることもできない。
- 環境が悪化する一方で、このままでは鳥たちが死んでしま  
うとのことで、知人のY様へ相談があり、TSUBASAへと連絡  
がありました。

これまでも、TSUBASAには第三者(友人、親族)からの相談は  
ありましたが、どれもできるだけ、飼い主本人から連絡をもら  
うようをお願いしていました。

B様が信用出来ないというわけではなく、聞いた話だけでは内  
容が本当に真実なのか、鳥たちを継続して飼いつづける意思が  
どの程度あるのかは、やはり本人に聞かないと分かりません。  
しかし、B様から事情を聞いたと言って連絡を取れば、手放す気  
のないA様の気持ちを害するだけで終わる可能性が高いです。

この時点では、あくまで個人宅の話であり、ペットショップと違  
って視察ができません。まずは現場の画像をB様に送ってもらう  
ようY様に依頼し、客観的にどのような状況なのかを判断する事  
になりました。その上で、直接A様に改善を依頼したり、譲渡に  
持って行くアプローチを掘り下げることで話がまとまりました。



現場の状況

10/13  
10/28

10月13日～10月28日.....  
Y様にご協力いただき、B様から現状の情報収集  
と、実際に現場の視察をしていただきました。  
まとめてくださった状況は以下の通りです。

- この時点で判明した羽数は計46羽。(1ケージに約4～6羽  
程、種類関係なく入れられている)
- 鳥部屋(8畳ほど)は土足でないと入れないほど汚い。  
(抜けた羽毛、シードの殻などで汚れていた)
- ケージのトレイにはシードの殻や便が、びっしり。
- A様は1～2日置きに戻って水換えと餌は与えている(与えて  
いる餌の内容や量が適切かどうかは怪しい)が、掃除は1～2  
か月に1回程。
- 放鳥はできていない。
- 集めたゴミは袋に集めて置きっぱなしで、臭いも酷い。



まさに飼育崩壊の状況でした。  
一刻も早く鳥たちをどうにかしなければなりません。  
それには飼い主であるA様の同意が必要となります。  
B様、Y様のご協力の下、鳥たちの所有権をA様からB様へ移  
し、その後TSUBASAで引き取るという流れで話を進めること  
になりました。

また、Y様の他にも、東海地区の方々のご協力の下、鳥達の飼育  
環境の改善や里親探しのご協力もいただきました。



大掃除と、きれいになった鳥部屋



11/8

11月8日.....  
Y様を始めとした、ボランティアの方々による大掃除を実施。鳥部屋やケージを綺麗にしてくださいました。

11月10日.....  
A様からB様へ鳥たちの所有権を移す契約がなされる。

11/10

11月11日.....  
12時：埼玉から愛知へ出発（松本・望月）  
18時：愛知県へ到着。Y様含め、今回ご協力いただいた方とレスキューの打ち合わせ後、一泊。この時点で、13羽の鳥たちの里親が決まったとのご報告を受ける。

11月12日.....  
9時：33羽の鳥をレスキュー後、埼玉へ出発。  
15時：埼玉到着、検疫室へ収容。

11/12



■今回レスキューした種類と羽数は以下の通りです。

セキセイインコ：8羽

ジャンボセキセイインコ：3羽

文鳥：2羽

コキンチョウ：1羽

マメルリハ：3羽

キンカチョウ：7羽

サザナミインコ：7羽

アキクサインコ：1羽

ボタンインコ：1羽 計:33羽

以上がレスキューの経緯と詳細となります。



A様は志のあるブリーダーを目指していたとのことでした。それが事情があったにせよ、いかなる理由であれ、鳥たちをこのような状況に追い込んだ責任は大きいと思います。限界になる前に誰かに相談をしていれば、違う形で解決できたかもしれません。

ですが、A様も初めは鳥たちを大切にし、かわいがる愛鳥家だったはずですが。

A様もきっと、鳥たちに対して申し訳ない気持ちで一杯なのではないでしょうか？ 反省と共に、今後の人生を立て直していただきたいと願っております。

今回のレスキューでは埼玉から遠く離れた場所ということもあり、私たちがすぐに行動を起こすことができませんでした。一刻も早く行動に移すべき状況でしたが、力不足を痛感した次第です。しかし、TSUBASAの会員の皆さまが積極的に働きかけていただいたことが、何よりもありがたかったです。皆さまの行動がなければ、鳥たちを救うことができませんでした。Y様を始めとした東海地区の方々に、大変お世話になりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。そして、鳥たちが新しい家族の下で幸せになれるよう、私たちが最大限努力していく所存です。

【ご支援のお願い】.....

今後鳥たちのお世話代、検査代、治療費で膨大な費用が必要となると予想されます。差し支えなければ皆様からご支援をいただけますと幸いです。

寄付をしてくださった方は、領収書を発行させていただくため、ご住所等をお教えいただけますと幸いです。

恐れ入りますが、下記のフォームからご記入願います。

<http://tsubasa0615.jimdo.com/寄付金/>

※フォームにて申請をしてくださった皆様の寄付を合算し、最終的には今回のレスキュー用寄付合計として皆様にご報告いたします。

【物品によるご支援について】.....

餌類、新聞紙等が必要となりますが、現在は何とか足りております。不足の際には募集の告知をさせていただきますので、その際にはご協力いただけますと幸いです。

【情報拡散のお願い】.....

どんな情報でも伝わらなくては意味がありません。「いいね!」ひとつでも「リツイート」でも、ブログへの転載でも構いません。情報の拡散にもご協力をいただけますと幸いです。





仕事をしていて嬉しいと感じる瞬間は、TSUBASAを卒業していった鳥たちが里親さんと共に幸福な生活を再び取り戻したのだと、お話をされている里親さんの笑顔だったり、その仔がTSUBASAにいた際には見せなかった一面や変化を感じる時です。昨年7月にTSUBASAを卒業した オデカケ 改め ウワちゃんの里親様から素敵なお手紙が届きました。

# 里親さんからの手紙

## オデカケのその後

オデカケとは... とり村回覧板vol.17にてキビタイボウシインコ緊急レスキューの記事にてご紹介させていただいた鳥です。2015年1月、飼い主様が亡くなり、2~3週間放置されているインコがいると、たまたま仕事で訪れた水道業者の方から相談を受け緊急レスキューを行いました。大家様が餌と水を少しずつ与え続け、なんとか繋がっていた命はTSUBASAと巡り合い公募によりオデカケと命名されました。



7月下旬に我が家にやって来て、まもなく4か月。もっと前からいるような感じです。「オデカケ」から「ウワ」に改名しました。と言うのも、「おでかけ、ウワ」とか、「ウワちゃん」、「ウワーよっ」など、やたらと「ウ

ワ」と喋るので、もしかしたら本名？は「ウワ」ちゃんではと思って。初めてTSUBASAでオデカケを見たときは、弱々しく愛想もなく、その後の面会でもまるでツイグルミのようでした。



今では、あれは別の鳥？猫かぶってた？と言いたくなるくらいです。お気に入りの場所は階段。14段の階段をアッという間に上り得意の「おでかけこんばんわ〜」を最近

ではアレンジを加えながら喋っています。上の写真は、階段の途中のお気に入りの場所です。また、スキマをのぞくのも大好き。右の写真は、少し画像が悪いです。壁に背中をつけて、ものすごい格好で障子のスキマをのぞいているところ。す。



走るのもビックリするくらい速いです。時々、爪で滑りそうになっています。おしゃべりは、「おはよう」と「ウワちゃん」は、おばさんの声色でしゃべります。鳩ぼぼの歌を歌ってやると、一緒になって何やら歌っています。音程も言葉も滅茶苦茶ですが、、、とにかく忙しくなりましたが、家族みんな癒されています。レスキューされるまでの数日間、どんなに寒くて寂しかったらうかと思うと胸が締めつけられる思いです。その数日間のことを忘れてくれていればと思います。





# TSUBASAの里親会: MTB ~Meet The Bird~

TSUBASAでは様々な事情で手放された鳥たちのために新しい飼い主を探す里親制度を設けており、定期的に里親会を開催しています。それをMeet The Bird(鳥に逢いに行く)略してMTBと呼んでいます。

TSUBASAではMTBに一度参加しただけでは、鳥のお迎えはできません。“人が鳥を選ぶのではなく、鳥が人を選ぶ”をコンセプトに、里親を希望する方には鳥たちに直接逢う機会を何度かもってもらい、少しでも多く鳥のことを知ってから里親になってほしいという想いを込めて活動しております。

里親をご検討される方も、まずは見学だけという方でも大歓迎です。よろしければ、ぜひご参加くださいませ。

## 里親になるための流れ

### ① 里親会 (MTB) へ参加★

初めてご参加される方には、必ず定期的に開催しているMTBと説明会においていただきます。里親になるための流れや注意点、里親募集している鳥たちについて説明します。



### ② 里親を希望する鳥に仮登録

里親を希望する鳥がいた場合、現在の生活環境などのヒアリングを行い、仮登録とさせていただきます。

### ③ 二次面会★

仮登録後から約2週間前後で、同居しているご家族を同伴の上、面会に来ていただきます。家族全員が鳥を引き取ることに問題がないか、相性が良いかなどを確認します。この時、里親希望の鳥の注意点などもレクチャーします。

### ④ 里親希望のご意志があれば、ホームステイの準備へ

次のステップとなるホームステイの前の準備として、里親希望の鳥の健康診断と、ご自宅で飼われている鳥の健康診断(自己負担)を行います。

お互いの鳥の安全を確認できたところで、ホームステイへと移ります。

### ⑤ 鳥のお迎えと約1週間のホームステイ★

お試し期間として約1週間、ご自宅で鳥を連れて帰ります。この期間中に、一緒に生活する上で問題がないかを判断していた

できます。ホームステイ中は、毎日日報を提出していただき、それを元に、スタッフがアドバイスをいたします。

### ⑥ 里親決定

ホームステイの期間中に問題が無ければ、契約と費用をお支払いの上で里親決定となります。

※1 里親決定までに、最低3回以上(★部分)は足を運んでいただきます。鳥によっては、より多く面会を求めることもあります。

※2 鳥の引き取りには費用が発生します。理由として、TSUBASAでは現在126羽(2015年11月現在)の鳥が暮らしています。いただいた費用により、TSUBASAの施設で生活する鳥達が新しい家族と出会うまでの餌代や、お世話代を補うことができます。費用は鳥を買うための金額ではなく、TSUBASAの鳥達への募金とお考えいただければ幸いです。

金額につきましては目安として、市場価格の半分から3分の2+ホームステイ前に行く健康診断料で設定しています。

里親会の開催日や、里親募集中の鳥たちの詳細は、こちらをご参照ください。▶ <http://tsubasamtj.jimdo.com>

2015年に里親が決まった鳥たち(11月現在)は以下の23羽。新しい家族の下で、幸せに過ごせることを願っております。



ブン@文鳥    ベタツ@セキセイインコ    ルイ@オカメインコ    ビター@文鳥



モカ@文鳥    ミッキー@キエリボウシインコ    はこべ@セキセイインコ    ハル@オカメインコ



ケニー@コバタン    よもぎ@セキセイインコ    ハツカ@セキセイインコ    メリー@シロビタイムジウム



おもち@セキセイインコ    チビキミ@セキセイインコ    ヒナズ@オカメインコ    オアケ@キビタイボウシインコ



ソイ@オカメインコ    ヒナタ@タイハウオウム    キョロ@セキセイインコ    シンタロウ@キエリボウシインコ



シロウ@コバタン    ルル@オカメインコ    コウヤン@オオキボウシインコ



# クチバシが忙しい鳥さんは 幸せな鳥さん

鳥のおもちゃとTSUBASAのおもちゃ事情

鳥さんたちにとって、適切なおもちゃで遊ぶことは心身の健康を維持するうえでとても重要です。

## おもちゃで遊ぶことは心身の健康維持に必要

海外では「Busy beak is happy bird」クチバシが忙しい鳥さんは幸せな鳥さんという言葉があるように、感情豊かで知能も高い鳥さん達にとって適切なおもちゃで遊ぶことは心身の健康を維持するうえでも非常に重要です。

おもちゃにはストレスの解消や知能の発育、爪や嘴の伸び過ぎの防止といったメリットもあります。

## おもちゃを選ぶうえで最も重要な基準は安全性

物によっては素材に毒性が無いかといったことを考慮し、誤飲したり嘴や首や足が引っかかったりと怪我の原因になることもあり、発情の対象になったりすることもあるので注意します。

また、目の届くところで遊ばせるといった配慮を忘れないように心掛ける必要があります。

TSUBASAの大型鳥は個体差こそありますが、破壊して遊ぶおもちゃが大好きですので、口にしても大丈夫な素材(鳥によって注意すべき素材があるので確認や観察が必要)を使います。

よく使用するのは、木片、松ぼっくり、トイレットペーパーの芯、段ボール、おり紙、ヘチマスポンジ、コルク、アイスクリームの棒やヘラなど…。



素材いろいろ

## あっという間に無くなるおもちゃ

普段は作業の合間を見て、ボランティアさんがせっせと作ってくださいますが、破壊行動大好きな彼らは秒殺で壊します。おもちゃはすぐに無くなり、いつも自転車操業のような状態です。

そこで、TSUBASAの鳥たちのために手作りのおもちゃを作ろうと、ボランティアさん主催のおもちゃ作りコーナーが1階TSUBASAカフェスペースにできました。



とり村においての際はぜひお立ち寄りください!

## TSUBASAの鳥たちのおもちゃ

作ったおもちゃをボランティアさんがケージの中に取り付けてくださると、ずっと中に入る仔もいれば、見慣れないものが入っていますけど?と怖がってしまう仔などもいて反応が面白いです。そんなTSUBASAの鳥たちが、どんなもので遊ぶのか、少しご紹介します! 皆さまと愛鳥さんの幸福な生活を過ごすヒントとなればと思います。



綿ロープに挟み込んだキャンディ包みの中は9割がペレット。そして残りは「アタリ」のひまわりの種。





インコ達の体温をご存知ですか？彼らは平均して、40度以上の体温を持っています。

# 鳥さんの保温について

熱帯の地域にいる種類も多く、寒さに弱い場合も多いのがインコたち。具合が悪い時に人が「暖かくして寝ること」と言われるように、鳥にも、病気の際の保温は絶対必要なこととなります。投薬している鳥には、体が温まっている方が薬の効きがいいといったことも。

## 鳥が寒がっているって何でわかるの？

→鳥たちの**仕草**でわかります。

右の写真の場合、片方の鳥(A)にとっては適温であり、片方の鳥(B)は寒いと感じています。

本来であれば、寒がっている鳥だけを温めたいのでケージを分けるのがお勧めです。片方が寒がっていないので、「そんなに寒くないだからほおっておこう」というのは禁物！

**膨らんでいる鳥を見つけたら、まず膨らみが取れるまで温めましょう。**他の鳥にとっては寒くなくても、その子にとっては温度が足りていないのです。また、自分が寒くないから温度は十分足りているという判断をする人もいますが、体感温度は人と鳥で違いますし、体調によっても適温は変わってきます。

あくまで、鳥の体のサイン(膨らむ、足が冷たくなる、顔を背中に向く等)と温度で判断しましょう。

## 何度まで温めたら保温は足りているの？

→**膨らみ**が取れるまで。\*

温度はあくまで目安です。膨らみが取れるまで(Bの鳥の状況がAの鳥の状況になるまで)保温をして、初めて保温が十分と言えます。過保護に育てる必要はありませんし、少し膨らんだからといって即時、具合が悪いということでは必ずしもありませんが、室温だけではなく、鳥さんの様子と相談して保温を検討してあげてください。\*膨らむ理由の中には、痛みから来る場合や寒がる原因が病気によるもの場合があります。心配な場合は医師の診断をお勧めします。

## 保温器具のお勧めは？

→当団体では**床暖房**と**オイルヒーター**を使用しています。

下の表で、簡単に保温器具のご紹介をしますので参考にしてみてください。\*実際のご自宅の室温と、保温器具の性能にも左右されますので使用の際はお気をつけください。

	ヒヨコ電球	オイルヒーター(人用)	エアコン	床暖房	遠赤外式パネルヒーター
範囲保温	保温器具の周りのみ	ケージの周りのみ	部屋全体	部屋全体	保温器具の周りのみ
効果	寒くなったら鳥が自身で選択し、自分で器具に近づけることができる	サーモスタッド内臓なので暑くなり過ぎを防止できる	空間全体が温まり、自動調整ができるので温度変化を少なくできる。寒がる鳥にとって保温が弱い場合、ヒヨコ電球などと併用する機会が多い		鳥の体の中から温めるので空気を温めすぎず空気の汚れが少ない
特徴	小さく温度が上がりやすい。ケージ内で温度の勾配がつけやすい。	空気を汚さず狭い部屋全体を暖める時に便利。電気代が高め	火事などの心配が少ない。温度調整が容易。風は出るので、鳥に対し直撃は避けて使用	30度以上を出すのは困難。電気代が高め	空気を温めるものと違い、単体で病気の鳥の保温などは難しい(温まりにくい)



ダウンジャケットが暖かいのは、中に入った羽と羽の間に空気が入るから。鳥も寒い時には、体を膨らませ羽の間に空気が入るようにしています。



詳しくは、ペットショップの店員さんの意見、TSUBASAの電話相談室などを使って検討してみてくださいね。

## 保温をする時の注意点は？

→**火事、温度差、過保護**に注意。

**火事:** 保温器具(ヒヨコ電球など)は熱源になっています。温めるときに布などに触れていないかや、鳥が水浴びをして保温器具に水が飛ばないか、など注意する必要があります。

**温度差:** 暑すぎも寒すぎも鳥には負担ですが、具合が悪く膨らんでいる鳥については、1日の中に温度差がある事が良くないと言われています。一番寒い時間帯(朝方など)に膨らまない工夫をしてあげてください。そのためには、温度管理用に保温器具とは別にサーモスタッドの使用をお勧めします。\*どんどん温度が下がるので、湯たんぽやホカロンの長時間使用はお勧めしません。

**過保護:** 病気の鳥さんには、薬の効き目を良くして、これ以上病気が悪化しないためにも保温をしっかりしましょう。

ですが、元気な鳥さんのいる空間の温度を常に一定にして、季節感のない過保護な暮らしをさせることは、発情を促したりの問題に繋がります。保温が必要かどうか迷う時には医師に相談し、しっかり見極めましょう。



# 『バードライフアドバイザー認定講座』ご報告

2015年11月25日現在、バードライフアドバイザー(以下、BLA)3級の取得者が419名になりました。

今年1月に始めたばかりでしたが、たくさんの方に受講していただいたことに私たち自身が驚いています。

そして受講された皆さまに心から感謝申し上げます。

BLA3級認定講座は東京を皮切りに、福岡、名古屋、仙台、札幌、大阪そして直近では松山などで開催しました。

松山市がある四国では、TSUBASAとしても初めてのイベントでした。そのため受講者が集まるか不安があったのは正直な気持ちです。しかし、実際には35名の方が地元愛媛県を中心に、四国や本州からお集まりいただきました。とても嬉しかったです。

四国の受講者の皆さまからも「四国まで来てくれて、ありがとう」と感謝され、感無量でした。

この回覧板を皆さまがご覧いただく頃には、たぶんBLA3級取得者数が500名を超えていると思います。

BLAについての概要は、前号の回覧板に書きましたのでここでは割愛させていただきますが、BLAは他の講座や認定資格とは何が違うのでしょうか？

それは、BLAはミッション型の認定資格という大きな側面を持っているということです。そのミッションは次のとおりです。

3級:「鳥と私が幸せになる」

2級:「鳥と私とあなたが幸せになる」

1級:「鳥と私とあなたと社会が幸せになる」

つまりBLAの認定資格には、その級に応じた役割や目標があります。

11月中旬に、TSUBASAが33羽の鳥たちを緊急レスキューをしたことをご存じの方も多と思います。

実はこのレスキューが実現できたのは、3級を取得された方達の多大なるお力添えがあったからです。

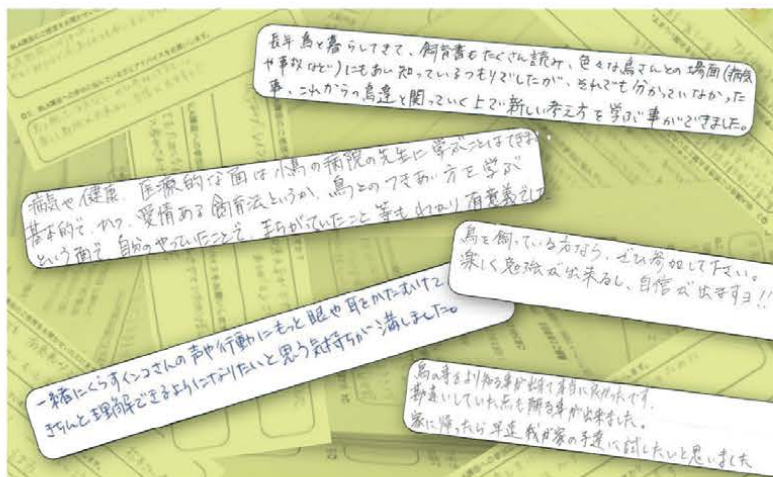
また、講義の中で学んだおかげで、ご自分の愛鳥さんの命を守ることができた、などその成果が現れてきています。

私たちが愛している鳥たちは飼い鳥です。飼い鳥は野生の鳥ではありません。私たち人間が繁殖させた鳥たちです。私たちが愛することができる鳥たちです。私たちがいないと生きていけません。でも、残念ながら飼い鳥の多くが、私たちの愛情をもらえずその一生を終えています。

スタートしてまだ1年足らずのBLAですが、多くの愛鳥家の方に取得していただき、一羽でも多くの鳥が幸せになってほしいと願っています。

なお、2016年の4月からは2級の認定講座をスタートする予定です。すでに3級を取得された方は、よかつたら2級もチャレンジしていただけたら嬉しいです。

最後にBLAを受講された皆さまからの「声」をご紹介します。



ぜひご参加ください!  
2016年の  
EVENT

※変更される場合があります。  
詳しくはHPをご覧くださいか、お問い合わせください。

## 里親会

### 『Meet The Bird』

- 1月17日(日)
- 2月21日(日)
- 3月26日(土)
- 4月24日(日)
- 5月22日(日)
- 6月26日(日)

最新情報は  
TSUBASA  
イベントページで!  
[www.tsubasa.ne.jp](http://www.tsubasa.ne.jp)



## 講座

### 第10回TSUBASAセミナー

●4月10日(土)

## 愛鳥祭

### 第1回愛鳥祭

日程:6月19日(日)  
会場:東京農業大学(予定)

TSUBASAシンポジウムや出張バードラン、鳥グッズフェアや里親会など、人、鳥、社会のためにイベントを開催予定です。詳細は後日、告知いたします。



## 土日祝 定期便運行!

13:00 14:00 15:00

平日と、休日の該当時間外は、  
事前に送迎のご予約をお願いいたします。

【営業時間 土日祝】1F:店舗・バードラン 13:00~17:00/2F:鳥たちを見られる空間 13:00~16:00

【アクセス】埼玉県新座市中野2-2-22/東武東上線「柳瀬川駅」から徒歩約25分

【Tel】048-480-6077 【Fax】048-480-6078 【e-mail】tsubasa0615@gmail.com

【発行元】  
認定NPO法人 TSUBASA  
松本壯志/涌井智美/  
望月健人/武井小奈宜  
【発行】2016年1月  
次回発行は7月予定です。

紙面の情報は発行日現在のものです。情報に変更が生じる場合がございますので何卒ご了承ください。